

# 特定非営利活動法人 絆

## 2019年度 事業報告書

### 事業実施の方針

- ・「困った時はおたがいさま」の心で助け合い、助け合いの輪を地域に広げる。
- ・一人ひとりの困難に向き合い、その人がその人らしく生活できるよう、心に寄り添う支援を行う。
- ・世代を超えた人と人との絆を大切に、互いに学び合い、支え合いながら、生きがいや自己の実現につなげる。

### 事業の実施に関する事項

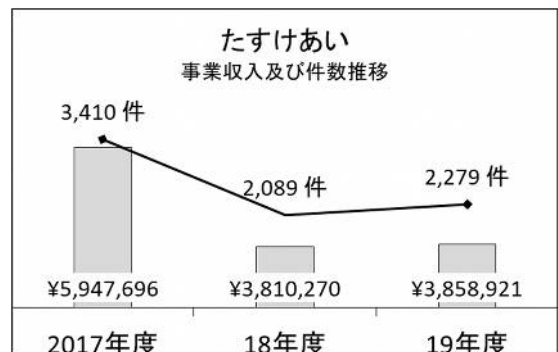
#### 1. 特定非営利活動に係わる事業

##### ① 在宅福祉サービス事業

###### ○ たすけあい事業

根拠事業 自主事業

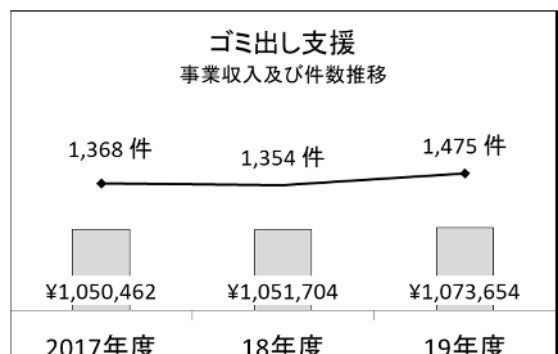
事業概要 現行の公的制度では対応できない家事援助、身体介護、話し相手、子育て支援、代行などの在宅支援や、家で一人では心配な方、他者との交流を求めている方に、気軽に通える場の提供などを行った。



###### ○ ごみ出し支援事業

根拠事業 東浦町委託（環境課）

事業概要 避難行動要支援者名簿に登録されている方や、65 歳以上の方の中で、ゴミを出すことが困難なご家庭のゴミ出し支援を行った。



###### ○ 子育て支援ヘルパー

根拠事業 東浦町委託（児童課）

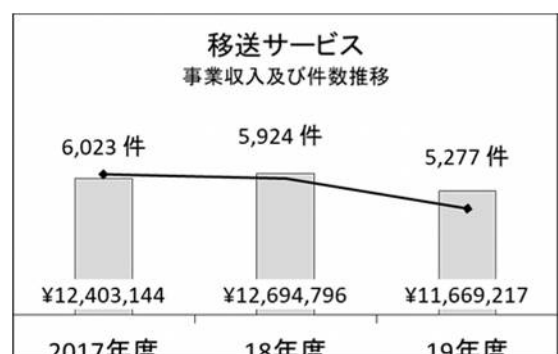
事業概要 様々な要因で、家事または育児を行うことが困難で、日中支援する方がいないご家庭へ、児童課の依頼を受けヘルパーを派遣する。

本年実績 0 件

##### ② 移送サービス事業

根拠事業 自主事業

事業概要 通院や買い物、社会参加など外出の際に公共交通機関を利用して出掛けられない方へ、福祉有償運送サービスを行った。



### ③ 地域ふれあい事業

#### ○ 福祉拠点普及促進コーディネート事業

根拠事業 東浦町委託（ふくし課）

事業概要 東浦町で居場所が増えるよう、継続できるよう、相談にのるとともに、モデル事業として2ヶ所の常設居場所を運営した。0～100 さい どなたでもお越しいただける居場所を展開。また、東浦町で常設居場所が増えるよう、相談事業や担い手育成及び協議会に参加した。

本年実績 担い手育成 113 人

相談対応

{	新規立ち上げ相談	135 件
	既存居場所相談	13 件

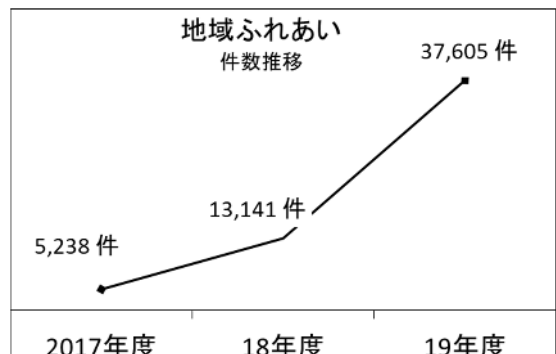
居場所に関する協議の場への参加・協力 59 回

#### ○ 居場所事業

根拠事業 自主事業

事業概要 「さをり織り教室」、「お茶を楽しむ会」、コミュニティカフェ「風喫茶」、常設居場所「地域の縁側 グリーン・ラソ」、「地域の縁側 ラソ・プラザ」、

「ラソファーム～みんなの農園～」の活動を通して、どなたでも利用できる、活躍できる居場所を提供すると共に、絆を知っていただく機会を設けた。



#### ● 地域の縁側グリーン・ラソ

東浦町初の常設居場所として、どなたでも気軽に参加できる仕組みや雰囲気づくりを行うと共に、見学や相談に応じ、東浦町全域に居場所が増えるよう、会議や働きかけを行った。

えんがわ体操、歌声喫茶、カラオケ、囲碁将棋麻雀の日など、日々のプログラムや、「まかないシェフランチ」「夜カフェ」「フオーク酒場」、

「え・ほんカフェ」、多職種連携交流会「放課後ラソ」、若年性認知症の方と家族のためのナイトカフェ「ルピナス BAR」の継続。また、住民主体型デイサービス「サロン・ド・ラソ」もボランティアさんを中心に充実して行うことができた。



#### ● 地域の縁側ラソ・プラザ

常設居場所2号店として、ボランティアさんによる運営の仕組みや、気軽に来ていただける雰囲気づくり、メニューの開発などを行い、モーニングやランチを提供した。また、作品をお借りして行う「まちの小さな美術館」や歌声喫茶、ワークショップなど、地域の方が活躍できる場づくりを行った。



- ラソファーム～みんなの農園～

青空の下の居場所として、どなたでも参加できる地域農園のしくみづくりと畑の運営を、社会福祉協議会との協同で行った。苗植えや収穫、イベント等には絆の通所ご利用者、地域活動センターのご利用者、放課後等デイサービスはぐの子どもたちにも関わってもらい、年間を通し、40名を超える方が参加した。



- さをり織り教室

毎週火曜日・木曜日と月1回土曜日に、さをり織り教室を開催。  
12月には「あんきにきて家」で展示即売会を行い、地域の方にもさをり織りを楽しんでいただいた。



- お茶を楽しむ会

毎月第3水曜日、茶道の先生やボランティアさんに支えられ、この日ばかりは風ハウスが茶室に早変わり。お抹茶を気軽に楽しむことができた。



- コミュニティカフェ

毎月第1火曜日と第3金曜日、風ハウスにて「風喫茶」を開催。  
ケーキ作りや喫茶のボランティアさんに支えられ、楽しいカフェを行うことができた。

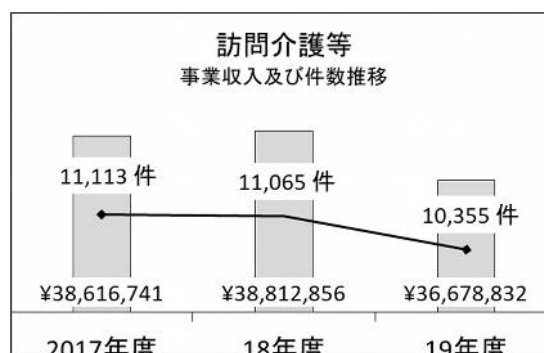


#### ④ 介護保険事業

##### ○ 訪問介護・介護予防訪問介護相当サービス・訪問型サービスA

根拠事業 介護保険法

事業概要 介護保険法に基づく訪問介護等の事業を行った。ご利用者の気持ちに寄り添い、いつまでも自宅で暮らし続けるため、生きる希望につながるような支援を心がけた。

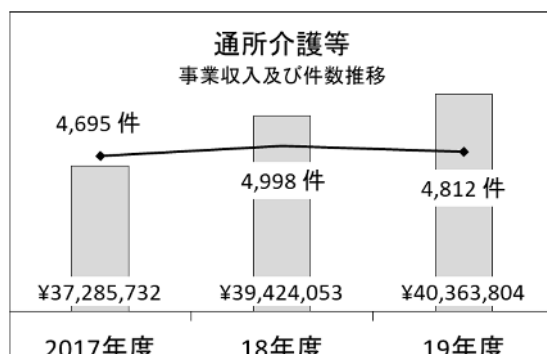




## ○ 通所介護・介護予防通所介護相当サービス

根拠事業 介護保険法

事業概要 介護保険法に基づく通所介護等の事業を行った。自己選択・自己決定の仕組みを大切に、ご利用者お一人ひとりの意思を尊重したプログラムを展開。楽しく通い、機能を向上し、生きがいを持てるよう支援した。

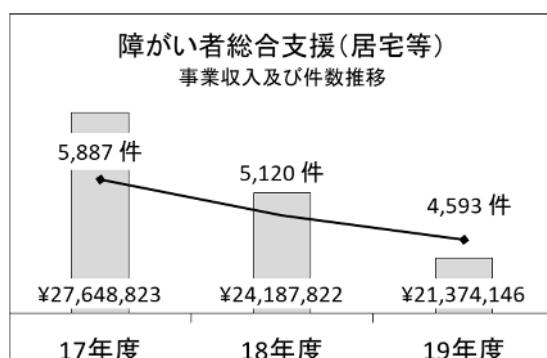


## ⑤ 障がい者総合支援事業

### ○ 居宅介護など

根拠事業 障がい者総合支援法

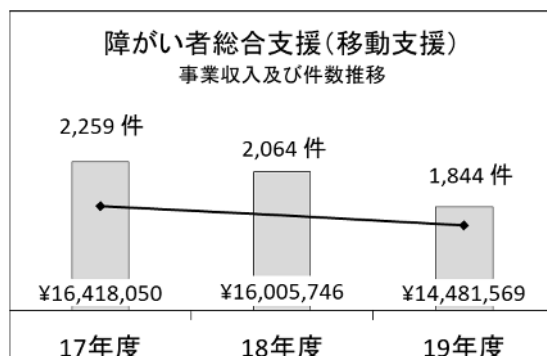
事業概要 居宅介護、重度訪問介護、行動援護、同行援護のサービスを行う。ご利用者の気持ちに寄り添い、その人がその人らしく暮らし続けられるよう、また生きる希望につながるような支援を心がけた。



### ○ 移動支援

根拠事業 障がい者総合支援法

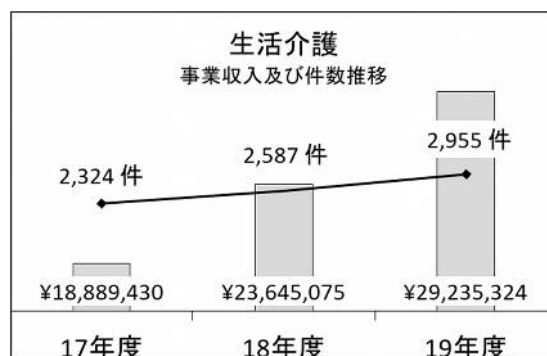
事業概要 地域生活支援事業の移動支援では、ご利用者の気持ちに寄り添い、希望に沿った余暇支援などを行った。



### ○ 生活介護

根拠事業 障がい者総合支援法

事業概要 日常的に介護を必要とする方に対して、日中活動を行った。障がい特性を理解し、自己選択・自己決定を尊重。ご利用者の気持ちに寄り添えるよう心がけた。



## 2. その他の事業

### ○ 物品販売事業

根拠事業 自主事業

事業概要 会員が作成した手作り品を販売し、楽しみや生きがい作りにつなげた。また、町内授産施設の生産品を販売することで、生産品販売の促進や障がいに対する啓発活動を行った。



- 絆の玄関ホールや地域の縁側グリーン・ラソにて、野菜やパン、シフォンケーキ、手作り品の販売や、地域の皆さんからご寄付いただいた物品でふれあいマーケットを常時開催した。
- 「於大まつり」「にじいろフェスタ」で模擬店を出店した。また、地域の方に感謝を込めて「絆まつり」を開催し、300人以上の方に参加していただいた。

## 3. 委員会活動報告

### ○ リスク予防向上委員会

年2回の防災訓練（春：地震、秋：火災）を実施。開催曜日を変えることにより、ご利用者とスタッフが違う組み合わせになるよう設定した。また、なまず号来訪で地震の恐さも体験できた。さらに、年1回委員会作成のチェックリストをもとに自己監査を実施。必要書類の不備のチェックと充実を図った。

### ○ チャレンジアップ（研修）委員会「通称：チャップ」

「共に学び合う」チャップの2019年度は、基礎知識の再確認を中心に講習会を開催。2020年度は、もうワンステップ進んだ内容の講習会を9回開催予定。しかし、コロナウィルス感染予防対策で、開催時期を見合わせている。

### ○ 三大まつり委員会「絆まつり、於大まつり、にじいろフェスタ（福祉まつり）」

2019年度の絆まつりは、区切りとなる第10回目の開催。オープニングでは恒例の和太鼓「巴」のダイナミックな演奏でスタート。「ありがとう」をテーマに、たくさんの「ありがとう」企画や音楽が好きなボランティアさんによる「あおぞらステージ」を行った。毎年多くのボランティアさんに支えられながら開催している。

